



R6 チャレンジ！ グリーン活動

学校・地域環境保全コース

観音寺市立大野原小学校

5年生

大野原小学校全校生495名によるグループです。中心となって活動するのは5年生76名です。児童は元気いっぱい、笑顔いっぱい、みんな仲よく過ごしています。自分たちの町に誇りを持ち、地域の方と一緒に学校林を大切に守っていききたいと思います。

目標

大野原の誇りである森林について学び、守っていこう！

指標

100%の児童が森林の大切さや森林を守ることの重要性について実感する。

活動の様子



事前の学習では、林業に携わる地元のボランティアの方から、森林の役割や学校林の歴史についての話を聞いた。社会科で学んだ林業のことを振り返りながら学ぶことができました。

林業で使用する様々な道具に実際に触れたり、ヒノキとスギの苗木を見比べたりする中で、森林の尊さや林業の大切さについて確認することができました。また、昭和28年に最初に植林を行った地域の方の、地域を愛する思いにも気付くことができました。



間伐作業では、根元に切り目を入れたヒノキを、児童が2方向からロープで引き倒しました。直径20cmほどのヒノキであるが、グループで協力して引っ張らないと倒すことができないことに驚いていました。倒れたときの音や地響きとともに、思わず児童の歓声が湧きあがりました。

倒した丸太は、児童がノコギリで輪切りにして記念に持ち帰りました。また、ボランティアの方がチェーンソーで輪切りにしたものは、図工の作品づくりに活用しました。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

輪切りにしたヒノキをコースターとして持ち帰り、森林を身近なものとして感じることができるようになりました。また、その他にも、輪切りのヒノキを利用し、各自のアイデアを取り入れた壁かざりを制作することを通して、自然を身近に感じたり、自然の大切さに気付いたりすることができました。また、完成した児童の作品は「ふるさと学芸館」に展示する予定です。

目標の達成度

100%の児童が活動に参加し、森林の大切さや森林を守ることの重要性について感想を記せました。